

まちづくり交付金 フォローアップ報告書  
滑川駅周辺地区

平成21年7月

富山県滑川市

# 1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	コミュニティバスの乗客数	人/年	17,174	20,000	23,666	確定 見込み	● ●	○	あり なし	● ●	62,563	H20年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	全てのコミュニティバスを市街地への利便性の高い市民交流プラザ前を発着場として設定したため、利用者増に繋がった。
指標2	ほたるいかミュージアムやタラソピアの利用者数	人/年	109,607	110,000	95,005	確定 見込み	● ●	×	あり なし	● ●	90,291	H20年8月	×	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	能登半島地震の影響により、北陸への観光客が減少した。歩行系サインの整備が年度末になったことから、回遊性の創出には至らず、利用者の増加には至らなかった。
指標3	民間商業施設(エール)の利用者数	人/年	1,458,733	1,500,000	1,374,847	確定 見込み	● ●	△	あり なし	● ●	1,383,944	H20年8月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	商業施設内テナントの撤退等の影響から、利用者数は減少した。しかし、隣接地に市民交流プラザがオープンし、売り上げが伸びて賑わいを見せていることから、今後の誘客が期待できる。
指標4	駅の乗降客数	人/年	578,190	580,000	499,497	確定 見込み	● ●	×	あり なし	● ●	530,084	H21年7月	×	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	少子化やモータリゼーション等の社会情勢の影響が大きく、減少傾向に歯止めがきかない。しかし、今後は市民交流プラザや歩行系案内サイン整備により、観光客の誘客が期待できる。
指標5						確定 見込み	● ●		あり なし	● ●		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
その他の数値指標1	公園通り商店街の歩行者通行量	人/日	592	/	668	確定 見込み	● ●	/	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	滑川駅から続く、アーケード、駐輪場及び公園通りなどの市道を整備したことにより、歩行環境が大幅に改善され歩行者の増加に繋がった。また、最大で4つの空き店舗があったが、全て解消された。
その他の数値指標2	市街地整備に対する満足度	%	21	/	65	確定 見込み	● ●	/	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	滑川駅から続く、アーケード、駐輪場及び公園通りなどの市道を整備したことにより、歩行環境が大幅に改善され、明るく歩きやすくなったとの評価を得た。
その他の数値指標3	市民交流プラザの利用者数	人/日	0	/	569	確定 見込み	● ●	/	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	まちづくりの拠点として、地域資源である海洋深層水を利用した入浴施設がある市民交流プラザに多くの人が訪れており、中心市街地に賑わいが戻りつつある。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	まちなかの回遊性を高める。	ほたるいか観光の期間は市民交流プラザを早朝からオープンし、入浴や食事ができるようにするなど、観光客の利便性の向上を図り、誘客増を図った。	早朝からの入浴及び食事が可能になり好評であった。	今後は観光施設との連携を強化するため、飲食やショッピングなどの商業施設の整備を積極的に支援し、まちの魅力を高める。
		まちなかの北国街道の散策など、気軽に散歩できるよう散策マップを作成し、ホームページなどでも掲載した。	明らかに市外の方と思われる小グループがパンフレットを片手に散策していたり、市民グループ単位での、まちなか散策している風景を見かけるようになった。	さらにエリヤを増やし、案内板も増設するなど、回遊性を高め更なる魅力の向上を図る必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策				

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
地鉄中滑川駅周辺整備(市民会館大ホール耐震改修、歩道、バスベイ整備など)、ほたるいかミュージアム・タラソピアの入館者増加対策、旧市街地(西地区)のまちづくり、歩行系案内サインの整備拡充など	庁内の市街地活性化検討委員会等において次期まちづくり交付金事業を検討中	H22~H26の5年間で予定	都市再生整備計画の作成と住民及び議会との調整